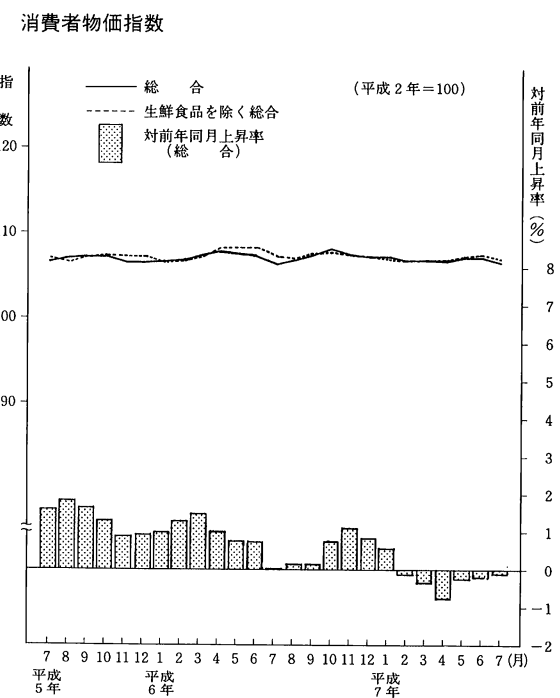
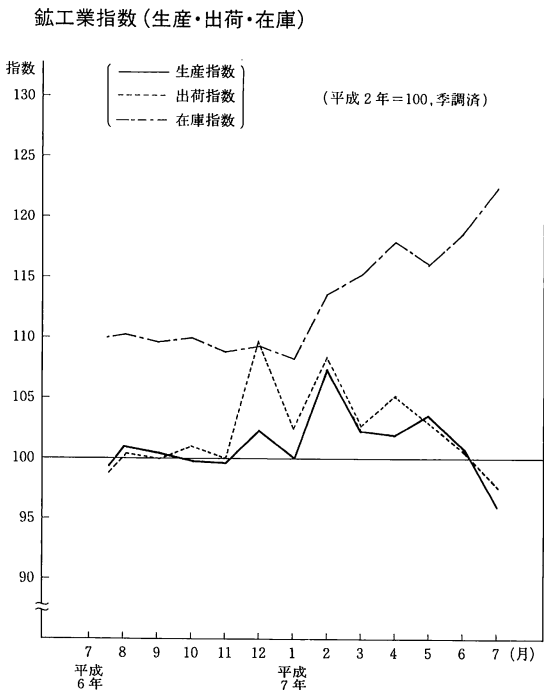
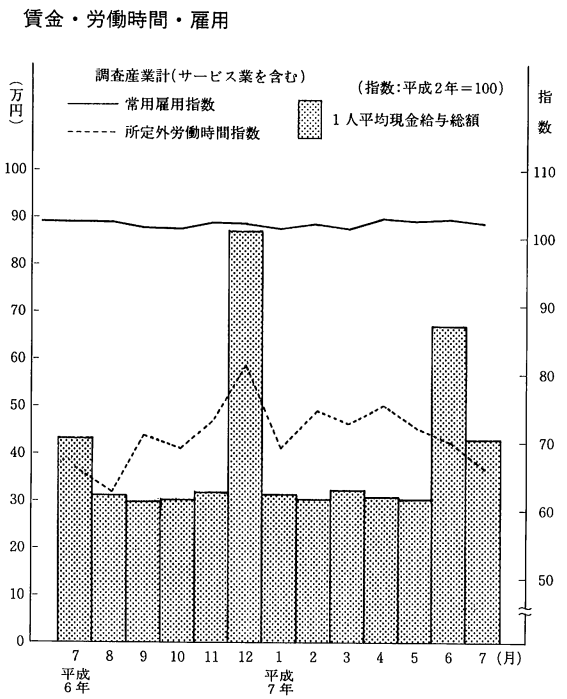
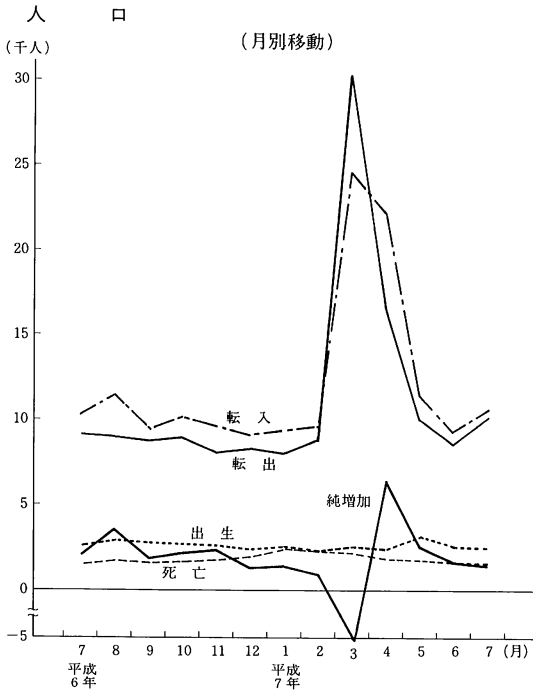


# 今月の主な動き



主な動きのあらまし…………… 企画部 統計課

■ 人 口 (8月1日)

本県の人口は、7月中に1,416人増加し、8月1日現在で、2,963,088人(男1,481,557人、女1,481,531人)となった。

内訳は、自然動態で749人(出生2,373人、死亡1,624人)増加し、社会動態で667人(転入10,752人、転出10,085人)増加した。前年同月と比べると19,297人(0.7%)の増加で

ある。

市町村別では、増加が13市39町村、減少が6市25町村、増減なしが3町村である。

世帯数についても7月中に、1,070世帯増加し927,490世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (7月)

1. 平均賃金の推移

7月の現金給与総額は、調査産業計で432,664円、対前年同月比1.1%減、このうち、きまって支給する給与は306,883円、対前年同月比1.9%増であった。また、このうち、所定内給与は281,005円、対前年同月比1.9%増であり、超過労働給与は25,878円、対前年同月比1.7%増であった。

なお、物価上昇分を差し引いた実質賃金は、対前年同月比0.1%増であった。

※この地方調査の結果は事業所規模30人以上です。なお、事業所規模5人以上の結果についての問合せにも応じます。

2. 労働時間

7月の総実労働時間は、調査産業計で164.5時間、対前年同月比0.9%減であった。このうち、所定内労働時間は151.7時間、対前年同月比0.9%減、所定外労働時間は、12.8時間、対前年同月比0.8%減であった。

3. 雇用の動き

7月の雇用の動きを常用雇用指数によってみると、対前年同月比0.9%減であった。

■ 鉱工業指数〈生産・出荷・在庫〉 (7月)

本県における平成7年7月の“鉱工業指数”(平成2年=100)は、季節調整済指数で、生産が96.1、出荷が97.7、在庫が122.1で、前月比は、生産が△4.2%の低下、出荷が△2.7%の低下、在庫が2.4%の上昇であった。

前年同月比(原指数)は、生産が△1.4%の低下、出荷が0.7%の上昇、在庫が11.4%の上昇であった。

業種別に前月比をみると、生産では、石油・石炭製品工業、電気機械工業、非鉄金属工業等が上昇し、精密機械工業、化学工業、鉱業等が低下した。出荷では、電気機械工

業、非鉄金属工業、その他工業が上昇し、精密機械工業、化学工業、石油・石炭製品工業等が低下した。在庫では、石油・石炭製品工業、精密機械工業、繊維工業等が上昇し、鉱業、非鉄金属工業、輸送機械工業等が低下した。

財別にみると、生産では、その他用生産財、耐久消費財が上昇し、鉱工業用生産財、建設財等が低下した。出荷では、資本財が上昇し、その他用生産財、建設財等が低下した。在庫では、その他用生産財、耐久消費財等が上昇し、資本財が低下した。

■ 消費者物価指数 (7月)

平成7年7月の茨城県消費者物価指数(県平均)は、総合で106.5(平成2年=100)となり、前月比0.7%の下落、前年同月比0.1%の下落となった。

今月の上がった主な項目……保健医療用品・器具1.3%、交通1.1%、医薬品1.0%

今月の下がった主な項目……シャツ・下着6.1%、衣料5.8%、果物4.2%、油脂・調味料3.5%

生鮮食品を除く総合は107.1となり、前月比0.6%の下落、前年同月比0.6%の下落であった。

費目別指数

(平成2年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同月			対前月	対前年同月
総 合	106.5	△0.7	△0.1	保健医療	103.4	0.5	0.4
食 料	104.3	△0.8	△0.4	交通通信	99.2	0.3	△0.2
住 居	116.4	△0.3	0.6	教 育	116.8	0.0	2.5
光熱・水道	102.3	△0.1	△0.4	教養娯楽	108.1	△0.3	△0.8
家具・家事用品	96.7	△0.3	△3.1	諸 雑 費	105.3	0.1	1.0
被服及び履物	109.5	△4.6	△0.6	生鮮食品を除く総合	107.1	△0.6	△0.6